

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです



第26回 太田和5万本のつつじと小田和川周辺散策

小田和川沿いを歩きながら、太田和つつじの丘公園にて5万本のつつじを満喫し、源流までを散策。最後は蝶のひろばで世界最大級の蝶を鑑賞します。(距離約6.1km、所要時間:約2時間)

太田和つつじの丘公園

平成16年に「太田和緑地」から名称変更された公園。園内にはヤマツツジ、キリシマツツジなど約5万株のツツジが植栽され、5月の連休には見ごろを迎える。(入園料無料、年中無休)



金子十郎家忠陣屋跡

治承4年(1180)、平家方として三浦氏の衣笠城を攻めた金子十郎家忠の陣屋跡の碑がある。家忠は21本の矢を受けたが一歩も退かずに戦い、敵の三浦義明も感嘆したと言われる。

ゴール

金子バス停

百庚申塔

専養院本堂の裏手に14基の珍しい石塔がある。「庚申塔」の文字が合計で99も彫られ、「百庚申塔」と言われる。明治初期に旧家の浅葉仁右衛門が建立したものである。



蝶のひろば (株式会社サガミの2階)

地域貢献のために設立された「蝶の博物館」。世界最大級の蝶ゴライアストリパネアゲハも展示されている。(入場料無料、年中無休 9:00~17:00)

小田和川

全長にわたって護岸が整備され、山科台を源流として小田和湾にそそぐ全長約2.3kmの小河川。源流域ではゲンジ蜚が見られる。



太田和城址

ヤジロー(矢城)山とも呼ばれる丘は、三浦義明の三男・太多和三郎義久の館跡と言われ、三浦氏の本拠衣笠城の西の守りと位置づけられていた。



本住寺

日蓮宗の寺院だが古くは真言宗の寺だった。室町時代に住僧印行坊が日相上人との法論に敗れ寺を明け渡し改宗されたと伝えられる。

歩くときのワンポイントアドバイス

歩道は殆ど整備されていますが、交通量が多い道路も並行するため、車には十分注意しましょう。また、急ではありませんが、坂の上り下りが所々出てきます。マイペースでの散策を楽しんで下さい。

